

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	法学研究科
大項目	7 国際交流 (研究科)
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流 (国内外における教育研究交流) についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流 (国内外における教育研究交流) を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況 (院)

II. 自己点検・評価 (2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 外国人客員研究員等の受け入れ、教員の海外派遣の支援、協定校への院生の派遣を推進する学部国際交流委員会を設置する。	→「法学部国際交流支援委員会 (仮称) の検討内容と結論、メンバー数 (参加者数)、答申案など」活動報告、「人的国際学術研究交流データ (海外客員教員招へい数・吉林大学等への出張者数・留学生数・国際学会等出席者数等 (教員・院生別)」、「大学院研究科の学生定員数および在籍者数」、「留学等の海外研究・学会出席回数」	C	C			
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」					
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

★ 小項目 7.0.1	7.0.1 国際交流 (国内外における教育研究交流) についての方針を明示しているか。 (方針明示の有無) いづれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 明示している <input checked="" type="radio"/> 明示していない 大学の関連部局と連携しながら、国際交流の進展に資する方策を定める。 (説明) 本年度のデータによると外国人留学生数は、正規、交換ともに増加傾向にあるが、海外への派遣学生数は、今年度も0状態が続いている。国際交流協定締結機関も皆無である。こうした状況は学部の特性に深く起因しているといえようが、専門領域によっては国際交流を進めることは可能と考えられる。したがって国際交流支援または推進に関する情報の収集に努めている。法学部国際交流支援委員会 (仮称) の設置が目標に上げられているが、その具体化は進んでいない。
★ 小項目 7.0.2	7.0.2 国際交流 (国内外における教育研究交流) を適切に行っているか。 (説明)
★ その他	

《評価指標データ》

(特定指標データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【法学研究科】			単位	2006	2007	2008	2009	2010	2011	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	-	-	-	-	-	-		
指標2	国際交流協定締結国数		国	-	-	-	-	-	-		
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	-	-	-	-	-	-	累計数	
		外国人留学生	正規	人	2	2	1	2	3	5	・※5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的 ・特別学生を含む
			交換	人	0	0	0	1	1		・累計数 ・交換は正規以外とする。 ・大学院短期留学を含む
		外国人留学生 在籍学生比率	正規	%	3.5	5.1	2.6	5.0	7.1	9.3	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	0.0	0.0	0.0	2.5	2.4		
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	-	-	-	-	-	-				
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	-	-	-	-	-	-	累計数	
		人数	長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	1	0	0	0	0		・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
指標5	海外からの受け入れ教員数		長期	人	0	0	0	0	0	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
指標6	海外への派遣教員数		短期	人	0	0	0	0	0	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
			長期	人	0	0	0	0	0	0	・累計数 ・1年間以上を「長期」
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		短期	人	0	0	0	0	0	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
			長期	人	0	0	0	0	0	0	・累計数 ・春・秋の合計

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)

(その他の指標)

協定校と相互交流数(学生・教員)

国別国際交流協定締結先機関数

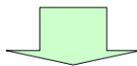
国別留学生数(学部別)の経年変化

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目 7.0.1	
☆ 小項目 7.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目 7.0.1	
☆ 小項目 7.0.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目 7.0.1	
★ 小項目 7.0.2	
その他	

【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目 7.0.1	
★ 小項目 7.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】《次年度に向けた方策》

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

III. 学内第三者評価

< 評価専門委員会の評価 >

【学外委員】

○研究科の国際関係に関連した学生数にもよりますが、海外への派遣数がゼロなのは将来の改善が期待されます。ただ、教員については海外での発表や研究などの機会も少なくないと思われるのでより積極的な活動が望まれます。

【学内委員】

○外国人の留学生が増加していることは評価できます。増加に対する対応など現状の説明を記述することが期待されます。昨年度の改善方策の中で「教員の派遣と連動させ」という記述がありますが、成果などの現状の説明を記述することが期待されます。

○海外からの受け入れ学生数が増加傾向にあることは評価できます。

○「現状の説明」において小項目7.0.2に係る記述がありません。記述が必要です。

○進捗評価「C」の項目については、「改善すべき事項」に記述することが望まれます。

○方針は、「定める」とされていますので、(方針明示の有無)は「明示していない」へのチェックが妥当ではないかと思えます。

○小項目7.0.1の現状説明は、小項目7.0.2での説明だと思えます。

○学問の特性からかもしれませんが、海外の派遣学生が0人であり、教員の交流もないことは、大学院としては大きな課題かと思えます。目標にかかげられた国際交流委員会の早期設置とその活動、ならびに国際交流方針の早期策定に期待します。

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

○「方針明示の有無」に関する指摘については、「明示していない」をチェックすることとする。

○小項目7.0.1にの現状の説明として、現状では、大学全体(国際教育・協力センター=CIEC)の方針に依存しているが、今後は、国際教育・協力センター他関連担当部局と連携しながら、法学研究科としての方針を定めるよう改善する。

★ 小項目7.0.2の記述に関する指摘については、小項目7.0.1の現状説明「本年度のデータによると外国人留学生数は、正規、交換ともに増加傾向にあるが、海外への派遣学生数は、今年度も0状態が続いている。国際交流協定締結機関も皆無である。こうした状況は学部・研究科の特性に深く起因しているといえようが、専門領域によっては、国際交流を進めることは可能と考えられる。したがって国際交流支援または推進に関する情報の収集に努めている。法学部国際交流支援委員会(仮称)の設置が目標に上げられているが、その具体化は進んでいない。」を小項目7.0.2の現状説明として記入することとする。